

ふりがな 氏名	かわい れいこ 河合 玲子	職名	教授
取得学位	修士(芸術)	学会での受賞歴	愛知県立芸術大学音楽振興会 中村桃子賞
主な担当科目	保育内容の理解と方法(音楽)、歌とピアノの技術、子どもの遊びと音楽、 保育内容演習(表現2)、総合表現演習、保育者養成基礎講座、保育者養成発展講座、保 育者養成実践講座		
所属学会	全日本音楽教育研究会、日本音楽学会、全国大学音楽教育学会、日本学校音楽教育実践 学会、日本保育学会、日本音楽教育学会、リミック研究センター、日本風俗史学会、日本美 術教育学会		

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
●保育学科専攻の学生のための授業 -保育表現技術(音楽1)-	平成 30 年 度 4 月～8 月	保育における音楽的实践に必要な基本的知識と技 術の習得のために、少人数のグループで音楽理論の 授業を行い、ピアノ演奏法の個別指導を行った。音楽 理論では、少人数のグループ指導ということもあり、授 業の進度に沿って内容の確認を行い、自習用問題課 題の配布等で理解を深めるようにした。ピアノ個人指 導では、理論を基にして正しい基礎的技術の向上の ために其々のスキルに合わせて指導を行った。
-保育内容の理解と方法(音楽)-	令 和 元 年 度～令和 4 年度 各 4 月～8 月	保育における音楽的实践に必要な基本的知識と技 術の習得のために、少人数のグループで音楽の知識 を生かした保育を実践するための基礎を学修するた めの指導を行った。実践法の授業では、少人数のグ ループ指導で行い、読譜の方法やリズムの取り方、ま た、視聴の方法についての指導を通じて、ピアノ演奏 における読譜力の向上につなげた。授業の進度に沿 って内容の確認を行い、自習用問題課題の配布等で 理解を深めるようにした。其々のスキルに合わせて指 導を行った。
-保育表現技術(音楽2)-	平成 30 年 度9月～翌 年1月～令 和元年度 4 月～8 月	保育表現技術(音楽1)で習得した基礎的な知識と技 術をもとに、保育に欠かすことのできない子どもの歌 の歌唱について、正しい発声法、伴奏法、子どもの歌 の弾き歌いの個別指導の授業を行い、保育現場での 音楽的技術と表現の実践力と応用力の向上に努め た。個別指導の他に声楽の授業のグループ指導を行 った。
-歌とピアノの技術-	令 和 元 年 度～令和 4 年度 各 4 月～8 月、各 9 月 ～1 月	保育内容の理解と方法(音楽)で修得した基礎的な 知識とピアノ技能をもとに、保育内容で欠かすこと のできない子どもの歌の歌唱について、美しい声の歌 い方、伴奏法、子どもの歌の弾き歌いの指導を行っ た。その中でも子どもが子どもの歌を楽しめるような指 導法を修得させるために、声楽の授業のグループ指 導を行った。

事 項	実 施 年月(日)	概 要
-保育表現技術(音楽3)-	平成 30 年 度 ~ 令 和 元年度 各 4 月~8 月	1年次の「保育表現技術(音楽1、2)」で習得したピアノ演奏と歌唱の技術のさらなる向上のために、弾き歌いやピアノ演奏法の個別指導を行った。実習や採用試験に伴う音楽的な課題や、受講学生それぞれの希望する内容に応じて指導を行った。
-子どもの遊びと音楽-	令和2年度 ~令和4年 度 各 4 月~8 月	保育内容の理解と方法(音楽)と、歌とピアノの技術で修得したピアノ演奏と、子どもの歌の歌唱技術と知識でもって、子どもの遊びを通して音楽を指導できるような方法、知識や技術について、実践を想定して指導を行った。
-保育内容演習(表現 A) -	平成 30 年 度 ~ 令 和 元年度 各 9 月~翌 年 1 月	5領域における保育内容「表現」を学ぶために、子どもたちの育ちと各領域の関係をつながげながら、保育現場で役立つ子どもたちの身体を使った音楽表現の指導法を、ボディーパーカッション、リトミック、劇あそびについて、実践を交えて授業を行った。グループ活動では、音楽表現の即時的な実践力を身に付けるために、幼児が楽しく理解できる内容で創作オペレッタの脚本、挿入曲、リトミック、ダンス、背景などの大道具、衣装、小道具の制作の指導を行った。また、歌唱法、編曲法を指導し、発表させた。
-保育内容演習(表現2)-	平成2年度 ~令和4年 度 9 月~1 月	領域における保育内容「表現」を学ぶために、子どもたちの育ちと各領域の関係をつながげながら、保育現場で役立つ子どもたちの身体を使った音楽表現の指導法を、ボディーパーカッション、リトミック、劇あそびについて、実践を交えて授業を行った。また、幼児の1年の活動計画を想定させ、その活動からオペレッタの創作台本作りと、制作物、工夫点、留意点を発表させ、卒業に役立つ実践力を養わせた。
-総合表現演習	平成 30 年 度~令和 4 年度 9 月~1 月	5 領域「表現」に関わる表現について、造形分野と音楽分野を担当する教員 5 名で授業を担当し授業を行った。子どもの表現について、絵本や造形作品と音との関係、また、身体表現と音の表現のといった総合的な視点から子どもの豊かな感性と表現について考えさせ、学生自身の感性や表現力について、技術の向上を図る授業を展開した。
-保育者養成基礎講座	平成 30 年 度~令和 2 年度、 令和 4 年 度 各 4 月~8 月	保育者になるための必要な資質について考えさせ、学生一人一人に合わせた指導を行った。また、全体で受講する時には、授業説明を担当し、授業が円滑にすすむように指導を行った。

事 項	実 施 年月(日)	概 要
-保育者養成発展講座	平成 30～ 令和4年度 4月～8月	保育所実習に向けた学生の相談に対応し、保育者になるための就職に向けた活動について、小論文を取り入れ指導を行った。学生が目指す保育者像について考えさせ、保育者になるための各自の課題について考えさせた。
-保育者養成ゼミ3 実践講座	平成30年 度9月～翌 年1月	教育実習、保育所実習等の個別相談、また、進路に向けた相談・指導を行った。保育士・幼稚園教諭採用試験に向けた取り組みとして、面接指導、就職試験対策、履歴書指導等を行い、学生が希望する職が得られるようにケアを行った。
-保育者養成実践講座-	令和元 年度～令和4 年度 各4月～8 月	教育実習、保育所実習等の個別相談、また、進路に向けた相談・指導を行った。保育士・幼稚園教諭採用試験に向けた取り組みとして、面接指導、就職試験対策、履歴書指導等を行い、学生が希望する職が得られるようにケアを行った。
「教育実習指導」	平成30年 度～令和4 年度 各9月～翌 年1月	2年次5月～6月にかけて4週間実施される教育実習に向けた指導を行った。活動に向けた指導案作成について指導を行い、指導案作成と、学生相互による指導案の確認を行わせ、自らの学びに繋げさせる授業を展開した。
尾張旭女声コーラスの合唱指導	平成30年 4月～令和 5年3月	歌唱する喜びを実感し、歌唱することにより豊かな生活を送ることを目的とした地域貢献のために、毎週2時間の指導を行い、尾張旭市主催の合唱祭や地域の生涯学習の場としての地域活動のサポートを行った。
名古屋市瑞穂児童館・名古屋女子大学総合科学研究所共催地域貢献活動 「みんなでメリー・クリスマス！」器楽合奏・創作の劇指導	平成30年 ～令和4年 各12月に 開催	1・2年生保育学科の学生によるクリスマスのボランティア活動の指導を行った。クリスマス・ソングをハンドベルや幼児が楽しめる楽器を中心にアンサンブルの編曲を行い、学生の卒後のスキルに繋がる学びを提供した。
名古屋市瑞穂児童館講座「おかあさんやおとうさんといっしょに歌で遊びましょう！」読み聞かせ、手遊び指導	平成30年 10月6日	開かれた地域貢献事業として、瑞穂児童館にて乳幼児と保護者を対象としたわらべ歌で遊ぶ講座を行った。父親、母親が揃って参加できる乳幼児を対象とした講座は数が少なく、喜ばれた。参加した1年生の学生も、実際に保護者と乳幼児と一緒にふれあう機会は殆ど経験が無かったので、大変、良い機会となり、子どもに触れる良い経験となった。
名古屋市瑞穂児童館・名古屋女子大学総合科学研究所共催地域貢献活動 「みんなでメリー・クリスマス！」器楽合奏・創作の劇、音楽あそび指導	平成30年 ～令和4年 各12月	1・2年生保育学科の学生によるクリスマスのボランティア活動の指導を行った。クリスマス・ソングをハンドベルや幼児が楽しめる楽器を中心にアンサンブルの編曲を行い、学生の学びを広げた。

事 項	実 施 年月(日)	概 要
名古屋市瑞穂区役所「さくらひろば」創作オペレッタ指導、手あそび指導	平成 31 年 度～令和 3 年、各 2 月	2 年生後期「保育内容演習(表現 A)」の授業で発表した創作オペレッタより、子どもの栄養や保健に関連した演目を選び、「さくらひろば」にて再演を行った。2 度目と言うことで、更に発表の工夫や表現力に磨きが増し、深い学びが行えた。1 年生も、実習を前に手遊びの発表を行うことができ、実際の子どもの前に立って保育をするということの練習になった。
愛知県現任保育士研修「認可外研修」	令和元年 8 月～令和 4 年 9 月	認可外保育所に勤務する保育者の学びの機会として、「保育環境と遊びー音楽表現の視点ー」を担当した。簡単な手作りおもちゃや廃材を利用した手作り楽器の製作や歌遊び、また、騒音計を活用した環境の音についての講義を行った。参加者をグループに分け、協同で発表を行うことを通じて、意見交換や情報共有が実施でき、保育の質の向上に関与することができた。
愛知県現任保育士研修「初任研修」	令和元年 9 月～令和 4 年 9 月 各 1 回	就職して 1 年から 3 年までの保育士を対象とした学びの場の提供として、「保育の基礎的スキル(音楽表現)」を担当した。簡単な手作り楽器の製作、手遊びや歌遊びを通して、保育スキルの向上を図ることができた。
名古屋女子大学付属幼稚園「子育て後援会」ー非認知能力ってなあに、家庭でできることってあるのー	令和 4 年 7 月 1 日	名古屋女子大学と名古屋女子大学付属幼稚園と連携の一環事業の一つとして、今話題の非認知能力について、付属幼稚園に通う幼児の保護者を対象に、講演を行った。また、季節の歌として、7 月の行事に因んだ「七夕」と「七夕まつり」の歌唱演奏を披露した。また、参加者を対象に、スキンシップを中心に、子どもと一緒に家庭で楽しめる音楽遊びの実践を行い、保護者にも子どもについての理解を深めてもらう機会をとした。
名古屋女子大学付属幼稚園子育て支援活動「プレスクール」ー楽しくリトミック遊びー	令和 4 年 9 月 5 日	名古屋女子大学と名古屋女子大学付属幼稚園と連携の一環事業の一つとして、保育学科第三部 2 年生の学生にリトミックの指導法を伝授しながら、付属幼稚園プレスクールに通う子どもと保護者を対象としたリトミックの体験の講座を催した。実習前に 2 歳児の子どもとの触れ合う機会を設けると、実際のリトミックの活動から、学生の学びに繋げることができた。
公益)市私立幼稚園協会主催「5 年目研修<幼稚園教諭としてのキャリア振り返る>」	令和 4 年 7 月 9 日	ウィルあいちで開催されたこの催しでは、公益社団法人 名古屋市私立幼稚園協会に所属する 5 年以上勤務する保育者を対象とした研修会において、幼児教育の専門家として、助言を行った。5 年のキャリアを積んだ保育者の現状を知る機会となり、現在保育者になるために学ぶ学生に対し、将来像をイメージして指導することができた。

◆ 研究業績

区分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発行・ 発表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
著 書	・第2部第2章子どもの豊かな感性を育む音楽表現、第3部これからの教育・保育に必要な音楽表現の知識と実践法、おわりにかえて:子どもの豊かな表現と遊び	共	平成30年 4月3日	西村印刷/『これからの保育者・教育者のために 子ども理解と音楽表現の指導法—理論と実践の統合—』名古屋女子大学短期大学部保育学科	河合玲子, pp.77-82、92、100、102、103、105
	・日本語唱法の研究—鼻濁音Ⅰ—、日本語唱法の研究—鼻濁音Ⅱ—	共	平成30年 9月30日	論説資料保存会/『日本語学論説資料 第53号 第四分冊(文章・文体・音声・音韻・方言)、二 音声・音韻』国立国語研究所	河合玲子, pp.464-476
	・ワークブック 音について考えよう①②	共	平成31年 3月5日	ブラザー印刷/『子どもの遊びを広げる保育内容 領域 表現の方法と技術ワークブック』名古屋女子大学 総合科学研究所	河合玲子、白石朝子、松田ほなみ、山本麻美、神崎奈奈、伊藤理絵 pp.5-8
論 文	領域「表現」において子どものことば遊びから育まれる豊かな音楽表現の一考察	共	平成31年 3月	名古屋女子大学/名古屋女子大学紀要第65号人文社会編	河合玲子、阿部多香子、安藤恭子、濱野織、井上めぐみ、鈴木彩、天野久美 pp.215-228
	子どもの表現と創造性を育むアート教育の指導法の開発	共	令和元年 5月	名古屋女子大学/総合科学研究第13号	松田ほなみ、河合玲子、神崎奈奈、白石朝子、山本麻美、伊藤理絵 pp.59-66
	子どもの歌の歌唱表現の方法についての—考察—保育者を目指す学生の視点に着目して—	単	令和2年 3月	名古屋女子大学/名古屋女子大学紀要第66号人文社会編	河合玲子, pp.175-188
	戦時中における女子学生の表現活動—女学生の情操教育に着目して—	単	令和2年 5月	名古屋女子大学/総合科学研究第14号	河合玲子, pp. 15-27
	子どもの表現と創造性を育むアート教育の指導法Ⅱ	共	令和2年 5月	名古屋女子大学/総合科学研究第14号	松田ほなみ、河合玲子、神崎奈奈、白石朝子、山本麻美、伊藤理絵 pp.97-106
	大学における効果的な授業法の研究8—本学における効果的なアクティブラーニングの開発—	共	令和4年5月	名古屋女子大学/総合科学研究第16号	白井靖敏、杉原央樹、竹内正裕、遠山佳治、羽澄直子、服部幹雄、野内友規、山田勝弘、河合玲子 pp. 21-23、32-33

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月 (日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
報 告	<p>戦時中における女子学生の表現活動ー女学生の情操教育について ②教育の中核・終身 -</p> <p>子どもの表現と創造性を育む アート教育の指導法の開発</p> <p>戦時中における女子学生の表現活動ー女学生の情操教育について③『會誌』と『春嵐』をもとにー</p> <p>子どもの表現と創造性を育む アート教育の指導法Ⅱ</p> <p>女学生の情操教育と表現活動 について - 戦後から高度経済 成長期に着目して -</p>	<p>単</p> <p>共</p> <p>単</p> <p>共</p> <p>単</p>	<p>平成 30 年 5 月</p> <p>平成 30 年 5 月</p> <p>令和元年 5 月</p> <p>令和元年 5 月</p> <p>令和 2 年 5 月</p>	<p>名古屋女子大学／総 合科学研究第 12 号</p> <p>名古屋女子大学／総 合科学研究第 12 号</p> <p>名古屋女子大学／総 合科学研究第 13 号</p> <p>名古屋女子大学／総 合科学研究第 13 号</p> <p>名古屋女子大学／総 合科学研究第 14 号</p>	<p><u>河合玲子</u> pp. 29</p> <p>松田ほなみ、<u>河合玲子</u>、神 崎奈奈、白石朝子、山本麻 美、伊藤理絵 pp. 44</p> <p><u>河合玲子</u>、pp. 79</p> <p>松田ほなみ、<u>河合玲子</u>、神 崎奈奈、白石朝子、山本麻 美、伊藤理絵 pp. 95-96</p> <p><u>河合玲子</u>、pp. 57</p>
報 告					

区分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発行・ 発表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
	高度経済成長期におけるピアノの大衆化と音楽教育	単	令和3年 5月	名古屋女子大学／総合科学研究第15号	<u>河合玲子</u> 、pp. 38
	機関研究教育実践 幼児教育で育みたい資質・能力に関する研究 - 教育課程・ドキュメンテーション・表現・環境に関する研究 -	共	令和3年5月	名古屋女子大学／総合科学研究第15号	壁谷紫織、白木律子、関戸紀久子、竹内敦子、藤森紀美代、平岩保子、光崎亜紀美、皆川奈津美、盛岡とき子、渡邊和代、荒川志津代、 <u>河合玲子</u> 、柴田悦子、渋谷寿、坪井眞里子、富永洵子、山田勝洋、山本麻美、吉川直志、吉村智恵子
	高度経済成長時代の音楽文化・音楽教育を支えた下地	単	令和4年 5月	名古屋女子大学／総合科学研究第16号	<u>河合玲子</u> 、pp. 40
	機関研究教育実践 幼児教育で育みたい資質・能力に関する研究-主体的・対話的で深い学びとなる総合的な表現活動に関する実践研究-	共	令和4年 5月	名古屋女子大学／総合科学研究第16号	壁谷紫織、白木律子、関戸紀久子、竹内敦子、平岩保子、光崎亜紀美、皆川奈津美、盛岡とき子、渡邊和代、 <u>河合玲子</u> 、渋谷寿、坪井眞里子、山田勝洋、吉川直志 pp. 75-76
学会発表	全国大学音楽教育学会 「本居長世の童謡における叙情性についてー野口雨情の作品よりー」(演奏発表)	共	平成30年 8月4日	全国大学音楽教育学会主催:中部地区前期研究大会／大会要旨	長世と野口との関係と作品との関連性から二人による初期の童謡作品「葱坊主」「十五夜お月さん」「七つの子」「青いお目の人形」「赤い靴」「俵はごろごろ」についての研究を行い、本学平澤節子准教授にピアノ伴奏を依頼し、演奏を行った。
	全国大学音楽教育学会 「読譜理解への試みー拍を意識したリズムの捉え方に注目してー」(口頭発表)	単	同上	同上	平成30年度「保育表現技術(音楽1)」で取り組んだ読譜理解の向上に向けた指導の中で、拍子とリズムの記譜法から視覚的観点からと聴覚的観点から言葉のリズムに結び付けて取り組んだ学習成果について発表した。
学会発表	全国大学音楽教育学会	共	平成31年	全国大学音楽教育学	卒園式で歌われる人気の「子どもの歌」より、最新の「あ

区分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発行・ 発表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
学会発表	「行事に関する教材研究Ⅰー卒園式で歌われる「子どもの歌」に注目してー」(演奏発表)		3月9日	会主催:中部地区後期研究大会/大会要旨	<p>りがとう ころをこめて」から「さよなら ぼくたちのほいくえん(ようちえん)」、時代を越えて愛唱されている「思い出のアルバム」「そつえんしきのうた」の研究を行い、本学村松麻衣助教にピアノ伴奏を依頼し、演奏を行った。</p>
	全国大学音楽教育学会 「行事に関する教材研究Ⅱーオリジナル楽譜から読み解く作品の意図に注目してー」(口頭発表)	単	平成31年 3月9日	全国大学音楽教育学会主催:中部地区後期研究大会/大会要旨	<p>卒園式で歌われる人気の「子どもの歌」の調査を行い、時代の変遷について研究の発表を行った。また、広く出版されている作品とオリジナルの楽譜との比較を行い、作品に対する作曲者の意図についての研究発表を行った。</p>
	日本保育学会 「音の想像力と創造性に着目して」(ポスター発表)	単	令和2年 5月17日	日本保育学会主催:第73回大会/大会要旨 pp.1347-1348	<p>歌詞に対する日本語のイメージを持つことで、学生自身の感性に響かせ、音程に対するエネルギーと、リズム拍における音楽の流れから、学生が豊かな表現で歌唱できるように試みた指導の結果について研究発表を行った。</p>
	日本学校音楽教育実践学会 「ICTを用いた子どもの歌の指導とその研究」(口頭発表)	単	令和3年 8月21日	日本学校音楽教育実践学会主催:第26回大会/大会自由研究要旨集録 CDROM2-7-4	<p>コロナ禍のため、対面で指導を行っていた歌唱法の授業を、ICTを活用したオンデマンドにより指導を行うことで、学生の修学度と、浮上する問題点について、研究発表を行った。</p>
	日本保育学会 「自然と親しむ表現活動『風』を題材にして」(ポスター発表) 日本学校音楽教育実践学会	単	令和4年 5月15日	日本保育学会主催:第75回大会/大会要旨 pp. 1347-1348	<p>平成30年に改定(改訂)された保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育保育要領の保育内容領域「表現」の内容の取扱いに新たに記載された自然の中にある音、形、色などに気付くような表現遊びとして、「風」を題材にした遊びの活動をどのような指導を感がるのか、その実践結果についての研究の発表を行った。</p> <p>コロナ禍のため、対面で指導</p>

区分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発行・ 発表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
	「ICT を用いた子どもの歌の 指導とその研究(2)-オンデ マンド課題による授業外学習 への波及-」(口頭発表)	単	令和4年 8月20日	日本学校音楽教育実践 学会主催:第27回大 会/大会自由研究要 旨集録 分科会4-2	を行っていた歌唱法の授業 を、ICTを活用したオンデマ ンにより指導を行うことで、学生 の修学度と、授業外での学習 時間にどのような影響があり、 効果が上がったのか、またそ こから生じた課題について、 研究発表を行った。
演奏会	河合玲子・石川彩子・尾張旭 女声コーラス なかよしコン サート <合唱指揮> Ⅰ. きみ歌えよ(谷川俊太郎 作詞/-、信長貴富作曲)Ⅱ. そのひとがうたうとき(谷川 俊太郎作詞、木下牧子作曲) <独唱> Ⅰ. ひそやかに(P. ヴェルレー ヌ詩、フォーレ作曲)Ⅱ. 牧人 たち(G. ダンヌンツィオ詩、I. ピ ッツェッティ作曲)Ⅲ. 待ちぼう け(北原白秋詩、山田耕筰作 曲)Ⅳ. 浜辺の歌(林古径詩、 成田為三作曲)Ⅴ. 椰子の実 島崎藤村詩、大中寅二作曲 (アンコール) 花の街(江間章子作詞、團伊玖 磨作曲)	共	平成30年 9月5日	尾張旭女声コーラス主 催/ヒロエホール	合唱指揮: <u>河合玲子</u> 、ピアノ: 石川彩子、合唱:尾張旭女声 コーラス
	名古屋オペラ協会創立35周年 記念公演 オペラ「王子とこ じき」原作:M. トウエイ ン、台本:廣澤敦子、作曲: 河出智希 指揮:暮らし竜也、演出・美 術:池山奈都子、管弦楽: 愛知室内オーケストラ	単		同上	独唱: <u>河合玲子</u> 、ピアノ: 石川彩子
	名古屋オペラ協会創立35周年 記念公演 オペラ「王子とこ じき」原作:M. トウエイ ン、台本:廣澤敦子、作曲: 河出智希 指揮:暮らし竜也、演出・美 術:池山奈都子、管弦楽: 愛知室内オーケストラ	共	平成30年 11月24日 昼の部	名古屋オペラ協会主 催:日本オペラシリー ズNo.26 公演/名古屋 市芸術創造センター	エリザベス姫: <u>河合玲子</u>
	名古屋オペラ協会創立35周年 記念公演 オペラ「王子とこ じき」原作:M. トウエイ ン、台本:廣澤敦子、作曲: 河出智希 指揮:暮らし竜也、演出・美 術:池山奈都子、管弦楽: 愛知室内オーケストラ	共	平成30年 11月24日 夜の部	名古屋オペラ協会主 催:日本オペラシリー ズNo.26 公演/名古屋 市芸術創造センター	市民の女、貴族の女役: <u>河合 玲子</u>
演奏会	同上	共	平成30年	同上	市民の女、貴族の女役: <u>河合</u>

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
	同上	共	11月25日 午前の部	同上	<u>玲子</u>
	同上	共	平成30年 11月25日 午後の部	同上	エリザベス姫: <u>河合玲子</u>
	こすもす会初生け会祝賀演奏 会一歌曲とピアノの宴 ＜独唱＞ Ⅰ. 花の街(江間章子作詞、團 伊玖磨作曲)Ⅱ. やわらかに柳 あおめる(室生犀星作詞、越口 辰之助作曲)Ⅲ. バラが咲いた (浜口庫之助作詞作曲)Ⅳ. す みれの花咲く頃(白井鐵造日本 語歌詞、F.デーレ作曲)、Ⅴ. 見 上げてごらん(永六輔作詞、い ずみたく作曲)	共	平成31年 1月13日	こすもす会主催/第 20回初生け会(名古屋 ・ウェスティン名古屋 キャッスル 天守の間)	独唱: <u>河合玲子</u> 、ピアノ:堀綾 子
	＜ハンドベル演奏＞ Ⅰ. 「四季」より春(ヴィバ ルディ作曲)Ⅱ. 菩提樹(シ ューベルト作曲)Ⅲ. 野ばら (シューベルト作曲)Ⅳ. 雨 にぬれても(B. バカラック 作曲)Ⅴ. バラが咲いた(浜 口庫之助作曲)Ⅵ. 踊るポン ポコリン(牧原敬之作曲)	共	平成31年 1月13日	同上	ハンドベル: <u>河合玲子</u> 、堀綾 子、鬼頭真知子、松井真弓
	瑞穂区街角コンサート ＜独唱＞ Ⅰ 見上げてごらん夜の星を Ⅱ. すみれの花咲く頃	共	平成31年 2月14日	瑞穂区役所主催/瑞 穂区街角コンサート (本学 越原記念館)	独唱: <u>河合玲子</u> 、ピアノ:白石 朝子
	＜独唱＞ Ⅰ. バラが咲いた、Ⅱ. ひな祭 り、Ⅲ. 早春譜、Ⅳ. ふるさと	共	平成31年 2月27日	熱田リハビリテーション 病院主催/ひな祭りコ ンサート	独唱: <u>河合玲子</u> 、ピアノ:鬼頭 久美子
	尾張旭市公民館まつり Ⅰ. 北の国から(さだまさし作曲 松下耕編曲)、Ⅱ. きみ歌えよ (谷川俊太郎作詞、信長貴富作 曲)、Ⅲ. ぜんぶ(さくらももこ作 詞、相澤直人作曲)、Ⅳ. 踊る ポンポコリン(さくらももこ作詞、 織田哲郎作曲)	共	平成31年 3月2日	尾張旭市主催/第34 回尾張旭市生涯学習 フェスティバル・公民館 まつり(尾張旭市中央 公民館3階301会議 室)	合唱指揮: <u>河合玲子</u> ピアノ:天野雅子、合唱:尾張 旭女声コーラス
演 奏 会	尾張旭市市民音楽祭	共	令和元年	尾張旭市主催;第37	合唱指揮: <u>河合玲子</u> 、鍵盤ハ

区分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発行・ 発表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
演 奏 会	第 37 回国民文化祭・あいち 2018 尾張旭市民文化祭 Ⅰ. きみ、歌えよ(信長貴富作 曲)、Ⅱ.『愛する歌』より「海と涙 と私と」、Ⅲ.『記憶のパストラル』 より「フェスティバル木曾節」(三 浦真理作曲)		11月 10 日	回尾張旭市民音楽祭 (尾張旭文化会館 大 ホール)	一モニカ演奏: <u>河合玲子</u> ピアノ:天野雅子、合唱:尾張 旭女声コーラス
	名古屋オペラ協会 〈気ままにコンサート vol.6〉～ 2020 ハッピーニューイヤー編～ 〈独唱・二重唱・三重唱〉演奏 『愛する歌』(やなせたかし作詞・ 木下牧子作曲)より Ⅰ. 地球の仲間、Ⅱ. ユレル、 Ⅲ. さびしいカシの木、Ⅳロマン チストの豚	共	令和 2 年 1 月 17 日	名古屋オペラ協会主 催/電気文化会館ザ・ コンサートホール	独唱&アンサンブル: <u>河合玲 子</u> 、内田由美子、小原恒久 ピアノ:重左恵理
	名古屋オペラ協会&名古屋市 文化事業団、名古屋子ども のための巡回劇場 原作:L. F. Buscaglia、 脚本・音楽:桃井聖司 音楽劇『葉っぱのフレディ』	共	令和 2 年 8 月 6 日 (配信: 10 月 4 日 ～令和 4 年 1 月 11 日)	名古屋オペラ協会、名 古屋市、名古屋市文 化振興事業団、名フィ ル、愛知児童・青年舞 台芸術協会主催:名古 屋市西文化小劇場 (名古屋文化振興事 業団 HP; YouTube配 信)	フレディ:菊池僚子、ダニエ ル:山田弘子、クレア:東えり、 アルフレッド:伊藤美佳子、ベ ン:張聖香、 <u>小鳥&ナレータ ー:河合玲子</u> ピアノ:池原陽子
	名古屋オペラ協会&名古屋市 文化事業団、名古屋子ども のための巡回劇場 原作:グリム童話 作曲:E. フンパーディング 歌劇『ヘンゼルとグレーテル』 オペラ・ダイジェスト版	共	令和 3 年 8 月 13 日 (配信: 9 月 17 日 ～令和 4 年 1 月 10 日)	名古屋オペラ協会、名 古屋市、名古屋市文 化振興事業団、名フィ ル、愛知児童・青年舞 台芸術協会主催:名古 屋市名東文化小劇場 (名古屋文化振興事 業団 HP; YouTube配 信)	ヘンゼル:田中由衣、グレー テル:福井友香、お母さん:近 藤加奈子、魔女:長川慶、 <u>眠り の精&ナレーター:河合玲子</u> ピアノ:池原陽子
尾張旭市市民音楽祭 第 38 回国民文化祭・あいち 2021 尾張旭市民文化祭 Ⅰ. 團伊玖磨「花の街」、Ⅱ. 八州秀章「さくら貝の歌」、Ⅲ. 米山正夫「365 歩のマーチ」、 Ⅳ. 古関裕而作曲「栄冠は君 に輝く」、Ⅴ. 岡野貞一「ふる さと」 〈独唱〉	共	令和 3 年 11 月 7 日	尾張旭市主催;第 39 回尾張旭市民音楽祭 (尾張旭文化会館 大 ホール)	合唱指揮: <u>河合玲子</u> 、 ピアノ:天野雅子、合唱:尾張 旭女声コーラス	
			令和 4 年 7 月 1 日	名古屋女子大学付属	

区分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発行・ 発表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
	<p>I. たなばた (権藤はなよ作 詞、下総皖一作曲)、II. たな ばたまつり (えほん唱歌)</p> <p>尾張旭市市民音楽祭 第39回国民文化祭 2022 尾張 旭市文化祭 I. ソーラン節、II. 合唱組曲 「ちよこれいと」(竹久夢二詩、信 長貴富作曲) ①ちよこれいと ②クロウバ ③紅蔦 III. さんば、IV. きみをのせて</p> <p>名古屋女子大学付属幼稚園ピ アノお迎え演奏会 ・ドレミの歌</p> <p>尾張旭市公民館まつり I. いつも何度でも (覚 和 歌子作詞、木村 弓作曲) II. 女声合唱曲「記憶のパス トラル」(三浦真理作曲)～ ①Pulse おてもやん (熊本民 謡)、III. 芭蕉布 (吉川安一作 詞、普久原恒勇作曲)、IV. 女 声合唱曲「記憶のパストラル」 (三浦真理作曲)～④木曾節 (長野県民謡)</p>	<p>共</p> <p>共</p> <p>共</p> <p>共</p>	<p>令和4年 11月6日</p> <p>令和4年 11月9日</p> <p>令和5年 3月4日</p>	<p>幼稚園 多目的ホー ル</p> <p>尾張旭市主催；第39 回尾張旭市市民音楽祭 (尾張旭文化会館 大ホール)</p> <p>名古屋女子大学付属 幼稚園 多目的ホー ル</p> <p>尾張旭市主催；第39 回尾張旭市市民音楽祭 (尾張旭文化会館 大ホール)</p>	<p>独唱：<u>河合玲子</u> ピアノ：白石朝子</p> <p>合唱指揮：<u>河合玲子</u>、 ピアノ：堀 綾子、合唱： 尾張旭女声コーラス</p> <p>独唱：<u>河合玲子</u>、 歌：名古屋付属幼稚園園児 ピアノ：白石朝子</p> <p>合唱指揮：<u>河合玲子</u>、 ピアノ：天野雅子、合唱： 尾張旭女声コーラス</p>